



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692 (住所記入不要)
☎ 0276-88-5511 (代表)
☎ 0276-47-5007 (企画課直通)
☎ 0276-89-0136
URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



〈第五十四回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



現在の北向観音堂。その昔、農事に使われていた馬を人々は家族同様に扱い、馬の無病息災や供養のために祭ったといわれています。

大晦日の夕飯

大晦日の夕飯は「年越しそば」を食べ、年越しをするのが普通です。けれども、十三坊塚の一部の農家では、いつものようにご飯を炊いて夕食にします。

このとき、食べきれないほどたくさん炊きます。明日は正月というのに、残り物になるほどたくさんご飯を炊くという変わった風習があります。

当然、お正月になっても残ったご飯を餅やうどん・そばなどと一緒にいただきます。しかも、最後の残り飯は「七草粥」を作るときに使いました。

昔、農家は貧しい暮らしでしたから、正月でもない食べ物もたくさんいただけません。親たちも、せめて正月くらいは子どもたちに腹一杯食べさせてやりたいと思ったのでしょう。

また、昔の人は縁起を担いだものです。「ご飯が残った」ということは「米がたくさん」とれて身上が残った」ということに通じるわけでしょう。さらに、残り飯を「七草粥」に入れて増やしにし、食べ物を大切にすることを無言で教えていたのでしょう。

北向聖観音

中野東小学校の北裏に曼陀羅という地名があります。北向観音堂はそこにあります。ここには馬頭観音様が祭られています。

なぜかここは、呼び名の通りお堂が北向きになっています。この地は古くから広々とした農地と、多くの山林、広大な湿地帯に囲まれていました。昔この辺りでは農事に馬が盛んに使われました。田畑の耕作はもちろん、アシや木材の運び出しに活躍しました。

農家では馬を家族同様に扱い、同じ屋根の下で暮らしました。馬主らは飼いが災難に遭わないように、病気にかからないようにと、仏様のご加護を願うとともに、亡くなった馬の成仏を願って供養をするために、馬頭観音様をお祭りしました。

馬が亡くなると、頭を北にして埋葬したので北向き観音になったといわれます。かつて埋葬した馬の骨が観音堂をやら離れた西側から出土しています。



今もお堂の中には北向きの観音像が建っています

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



晩秋
(緑化センター)



Photo 原田隆雄(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶2015年も残すところ一か月。来年の目標とかやってみたいこととか考え始めます。そこで気になるのが暦。何でも2016年の暦が話題になっているそう。見てみるとゴールデンウィークもシルバーウィークも休みがつかず、まとまった大型連休にはならないようです。▶Facebookを始めてみたいと思っています。しかし、情報がどこまで出ていくのか、システムを理解できず怖くて始められません。どなたか詳しく教えてくださいませんか。▶最近、自席で編集に費やす時間が増えてしまっていて、外に出れていません。外に出ないと町民の皆さんに会えないので、広報担当として痛く反省しています。反省は「事を改めようと考え、行動すること」。ならばこれを今日からの目標にしよう。ちなみに来年は申年です。(深澤)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。